

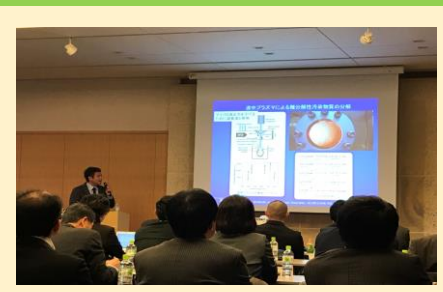
第2回研究会・第1回意見交換会・京都大学木津農場視察を開催いたしました。



12月19日(金)に第2回研究会、第1回意見交換会を行いました。
 年末のお忙しい時期に、17社の会員企業様及び13名の先生方にご参加頂きました。

第2回研究会の内容は以下の通りでした。

- ① 環境省CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業「光透過型有機薄膜太陽電池を用いた施設園芸におけるCO2排出削減技術の開発」の中間報告
 京都大学 農学研究科 蔬菜花卉園芸学研究室
 教授 土井元章、特任研究員池田知司
- ② マイクロ波刺激を用いた 植物の迅速育成法の開発
 上智大学 理工学部 准教授 堀越智



意見交換会では、NTTデータ様と和郷園様の取り組まれている農業ビジネスについてご説明頂きました。

意見交換会では、ご参加頂いているNTTデータ様及び和郷園様から取り組まれている農業ビジネスのご紹介を頂きました。
 NTTデータ様からは、農業×IT、和郷園様からは農業×福祉をテーマにお話頂きました。貴重なお話を有難うございました。
 ご発表後に、お話頂いた内容をもとに、各企業様や先生方のご意見を共有されました。



木津農場視察では有機薄膜太陽電池(OPV)農業用パネルを使用したハウス、トリジェネレーションシステムによるハウス栽培等見学させて頂きました。

京都大学農場の北島教授、中崎准教授、滝澤助教、鍋島助教そして院生の方々に、普段はなかなか見学することができない農場を案内して頂きました。OPVのハウスでは、ハウス内に入る光を反射させるための工夫が凝らされており、トマトが元気に育っておりました。トリジェネレーションシステムでは都市ガスから熱、電気、CO2をつくり、バラやイチゴの栽培に利用されています。皆様、詳しいご説明有難うございました。

